よくある不備データ

●完全データ入稿が基本です。

弊社では**完全データ入稿**が基本となっております。
データチェックの際に**問題点**が発見された場合は**お客様に修正して頂く**事になります。
再入稿になりますと**納期**などが**遅れます**ので、十分にご確認して頂いてからご入稿してください。
ここでは、お客様からいた頂いたデータに**よくある不備**をご紹介します。

❶ テンプレートに作っていない ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

❷ クリアファイルの白版が作っていない ・・・・・・・・・・ 1

❸ 塗り足しがない ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

❹ 文字のアウトライン化がしていない ・・・・・・・・・・・ 2

❺ 解像度が低い ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

❻ 配置画像のリンクが切れている ・・・・・・・・・・・・・・ 3

❼ スミノセの失敗 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

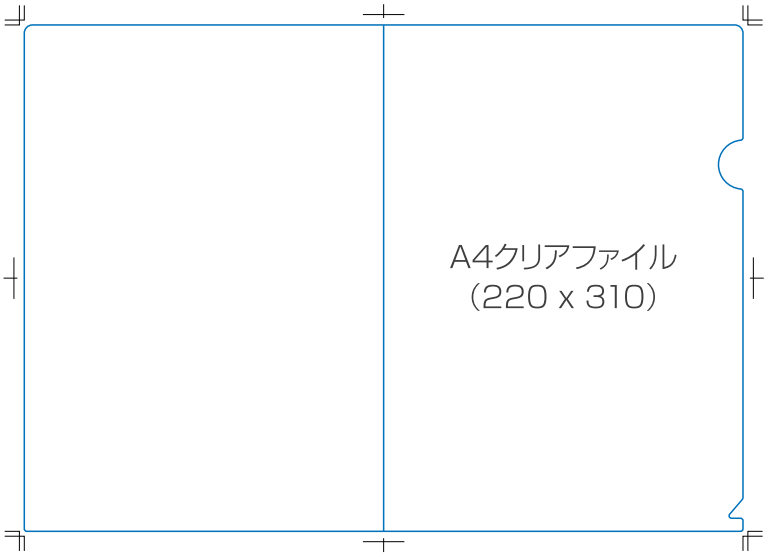
よくある不備データ

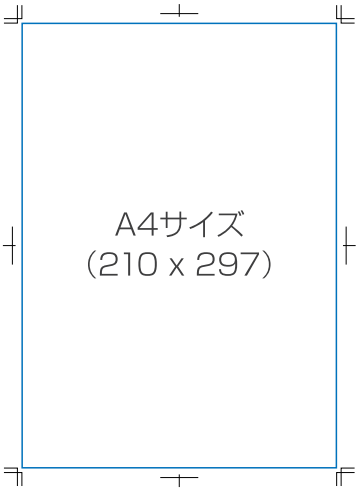
●完全データ入稿が基本です。

弊社では**完全データ入稿**が基本となっております。
データチェックの際に**問題点**が発見された場合は**お客様に修正して頂く**事になります。
再入稿になりますと**納期**などが**遅れます**ので、十分にご確認して頂いてからご入稿してください。
ここでは、お客様からいた頂いたデータに**よくある不備**をご紹介します。

❶ テンプレートに作っていない

クリアファイルは必ず**弊社のテンプレート**を使って下さい。
弊社ホームページからテンプレートを**ダウンロード**をして**再度レイアウト**をして頂く事になります。





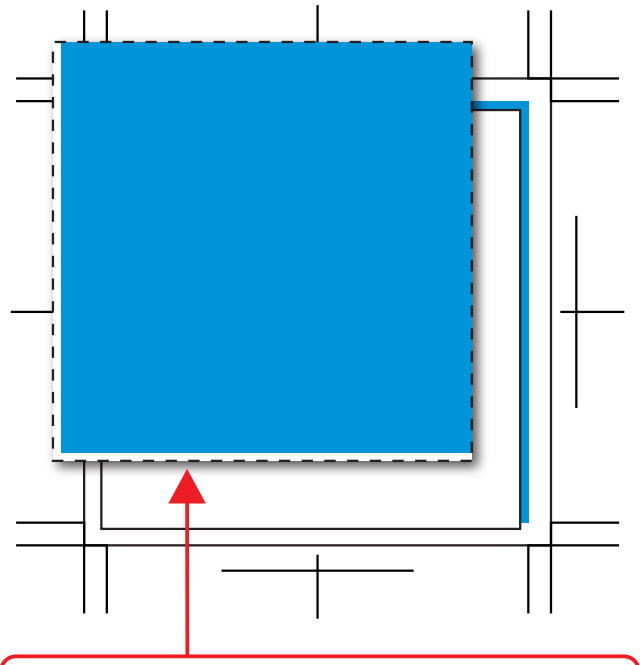
A4 クリアファイルの仕上がりサイズは 220×310 です。
A4 用紙のサイズ（210 x 297）ではありませんので間違えない様にして下さい。
他サイズのクリアファイルも同様です。

❷ クリアファイルの白版が作っていない

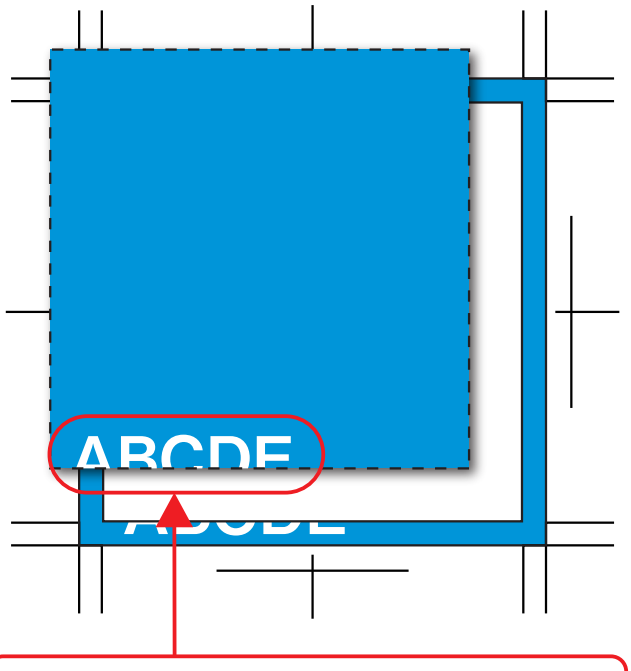
クリアファイルなどの**透明素材**への印刷は**「白打ち」**と呼ばれる**白色の印刷**が必要になります。
弊社で白版が必要かどうか**判断できません**ので、お客様に確認後、白版が必要な場合は**再入稿**して頂く事になります。

③ 塗り足しがない

塗り足しが無いと**断裁時**に**白(紙の地色)**が出てキレイな仕上がりになりません。
また、仕上がり位置より**はみ出している**オブジェクトは断裁によって**切れてしまいます**。
仕上がり位置に注意してレイアウトして下さい。



断裁機のわずかな位置ズレにより白(紙の地色)が見えてしまいます。

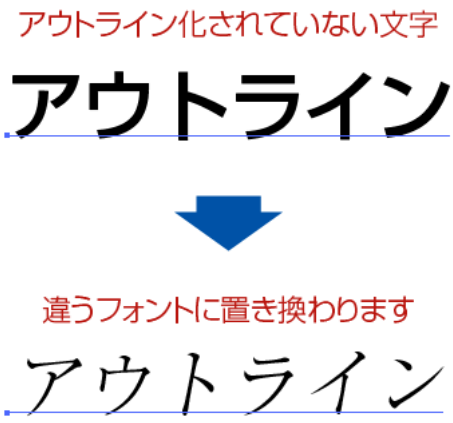


文字が切れてしまいますので、仕上り位置に注意してレイアウトしましょう。

④ 文字のアウトライン化がしていない

文字のアウトライン化をされていないと**別のパソコン**で開いた時に**書体が置き換わってしまいます**。
文字のアウトライン作成をしていない場合は**再入稿**して頂く事になります。

アウトライン作成したデータの上書き保存後は、文字の編集ができませんので、アウトライン作成前のデータも別名保存してとっておきましょう。



⑤ 解像度が低い

画像データは**原寸サイズ**で**300～350dpi**程度になるように作って下さい。**解像度が低い**と、ガタガタとした**粗い仕上がり**になります。必ず解像度を確認して作業して下さい。

Web用の解像度は72dpiです。ホームページなどの画像を印刷に使用しても粗くなりキレイな仕上りになりません。

72dpi
Web用解像度

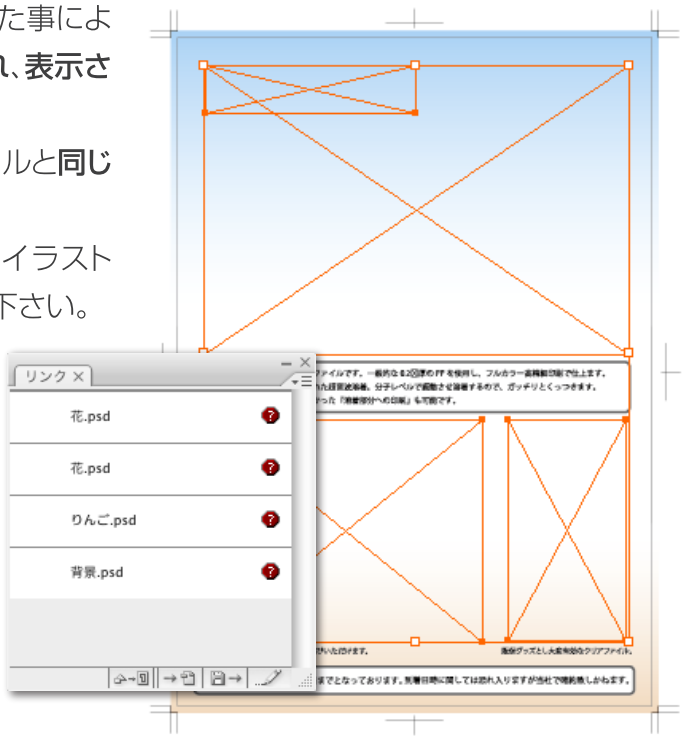
350dpi
印刷用解像度

※写真は解像度を比較する為のイメージです。

⑥ 配置画像のリンクが切れている

画像データの**名前を変更したり、フォルダの移動**をした事により、**イラストレーター**に**配置された画像**の**リンクが切れ、表示されない**場合があります。
画像の配置が**リンクの場合**は、イラストレーターファイルと**同じフォルダ**に画像データも必ず入れて下さい。
また、ファイルを違うフォルダに**移動する時**は、必ずイラストレーターファイルと画像データを**同じ場所**に移動して下さい。

リンク切れで表示されていない画像は、印刷もされませんので注意しましょう。



❼ スミノセの失敗

●写真の上にスミベタがある場合

写真などの**絵柄の上**に**スミベタ(K100%)**のオブジェクトを配置した場合、弊社の**製版システム**では**スミベタ(K100%)**のオブジェクトに対して**自動**で**オーバープリント処理**を行いますので、画面上ではわかりませんが、印刷されると**下の絵柄**が**透けて**見えてしまいます。

スミベタ(K100%)

リッチブラック

この現象をを防ぐためには、**スミベタ(K100%)**オブジェクトに、**別の色(例えばシアン1%)**を加えるか、**リッチブラック**にする事で防ぐ事ができます。

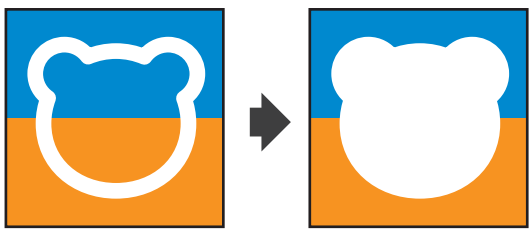
スミベタ(K100%)の**背面**に**白いオブジェクト(同じ形)**を配置する事でも写真が透ける現象を防ぐ事ができます。

●白ふちオブジェクトの場合

白ふちのある文字やイラストを作る場合、**スミベタ(K100%)**のオブジェクトの**背面**に**白ふちオブジェクト**を配置して作る方法があります。この場合、同じく**スミベタ(K100%)**オブジェクトが**オーバープリント処理**されますので、印刷されると**下の絵柄**が**透けて**見えてしまいます。

スミベタ(K100%)

リッチブラック

この場合も、**スミベタ(K100%)**オブジェクトに、**別の色(例えばシアン1%)**を加えるか、**リッチブラック**にする事で防ぐ事ができます。

背面の**白ふちオブジェクト**の**「塗りの設定」**を**「線の設定」**と同様に**白にする**事でも防ぐ事ができます。